にっぽん子ども・子育て応援団　2020 年度活動報告

（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

1　重点活動目標

・基本的には、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。

さらに、2020 年度の活動テーマを「子どもの健康」とし、全ての活動に反映させて行く。

特に、新型コロナウイルス 感染拡大に伴う緊急非常事態宣言によって、不要不急の外出自粛、在宅勤務の進展と保育所・幼稚園、学校、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、児童館などの休園・休校、登園自粛が 2 カ月以上続くといった未曾有の事態で、子どもとその家族の環境が大きく様変わりしている。困窮する子どもと親を支えつつ、現下の状況を乗り越え、未来に向けて、新しい暮らし方を提案していくべく、重点的に情報発信を行う。

「私だけの子育てから、みんなと子育てへ」

「にっぽん子ども・子育て応援団の目標」
　すべての子どもたちが、家族の愛情に育まれ、
　また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
　そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
　心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子ども・子育て応援団のアピール」
1.　子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2.　着実な事業計画の推進を
3.　当事者の声が反映されるしくみを

2　啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数　1,070,875　（2021 年 3 月 31 日現在）（2020 年 3 月 31 日現在　1,067,774）

	2020 年度 3 月 31 日現在数値	2020 年度末目標値
個人サポーター宣言	3,379,902 人（停止中）	11000 人
企業・団体サポーター	49 社	50 社
NPO・市民団体サポーター	270 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	28 人	40 人

3　調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国4カ所でのヒアリングを行い、全国 6 カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表、6 年間のプロジェクトを終了する予定だったが、新型コロナウイルス

感染症対応により、遠隔地への出張が困難になったため、2021 年度まで延長することとなった。
2020 年度に実施したのは、1 カ所でのヒアリングおよび、3 カ所での地域人材交流研修会開催となり、残りを 2021 年度に持ち越すこととなった。

地域まるごとケア・プロジェクトに伴うプロジェクト振り返り調査＆コロナ禍調査
2 期6年間のプロジェクト最終年度として、これまでにヒアリングおよび地域人材交流研修会を行ってきた自治体および市民活動団体に向けて、これまでの経年変化を調査、新型コロナウイルス感染症対応下での行政及び市民活動団体の困りごと及び対応についての調査を総まとめとして行い、内容と報告書にまとめるとともに、2021 年度には報告会で発表する。

・上記地域まるごとケア・プロジェクトについては、前述のように新型コロナウイルス感染症対応のため、2020 年度内に終了することが不可能となっていることから、委託元の公益財団法人さわやか福祉財団との協議により、期間を 2021 年度いっぱいまで延ばすこととなった。

4 情報提供・交流活動

(1)勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)
首都圏 3 カ所で開催する。→結成11周年記念フォーラム及び企業・団体サポーター交流会

・結成 11 周年フォーラム「私だけ」の子育てから 「みんなと」子育てへ！を開催
2020 年 10 月 18 日(日)13:20～16:40
Zoom を用いたウェビナーによる開催
参加申し込み数:59 名　実際の視聴者:76 名(登壇者含む)

第1部　新型コロナウイルス感染症対策で見えてきた　子ども・子育て環境の課題とこれから
榊原　洋一　にっぽん子ども・子育て応援団企画委員　お茶の水女子大学名誉教授　小児科医
大坪三保子さん　NPO法人子育て支援グループamigo顧問　たらちね助産院　助産師
有澤　陽子さん　NPO法人子育てネットひまわり代表理事
コーディネーター：奥山千鶴子企画委員

第2部　子どもと家族をもっと支える　わがまちの子ども・子育て支援施策
(新しい生活様式　第2期子ども・子育て支援事業計画)
子ども・子育て支援に熱心な自治体首長によるパネルディスカッション
しょうがいがあってもなくても、子どもにやさしいまちづくり
～発達支援システムのある町　芽室～　北海道芽室町長　手島　旭さん
公募で採用した女性副市長は子育て中　大阪府四條畷市長　東　修平さん
子どもの予防医療先進都市・うべ　山口県宇部市長　久保田后子さんの代理で
宇部市こども・若者部長　谷山幸恵さん
コメンテーター：樋口恵子団長
ファシリテーター：清原慶子企画委員

・2020年度企業・団体サポーター交流会の開催
2021年2月8日（月）17：00～18：30
Zoom を用いたミーティングによるオンライン開催。
参加申し込み数:9 社 14 名　うちサポーターではない企業 1 社　実際の視聴者:36 名(登壇者含む)

○ **イクボス座談会「男性育児休業取得はボウリングの一番ピン」(35 分＋50 分)**

1. 厚生労働省　仕事と育児の両立支援策について

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課課長　　佐藤　俊さん　（10分）

2.基調講演「改めて考える男性育休の職場効果」（25分）
安藤哲也団長

3.グループワーク「休暇が取りやすい会は社生産性が高くなる」（50分）

○話題提供のあと、みなさまと職場環境・風土の改革についてディスカッション

・話題提供者：
株式会社サカタ製作所　企画開発部部長　　小林　準一さん
株式会社長岡塗装店　常務取締役　　古志野純子さん
・コーディネーター：　　勝間和代　団長
・パネリスト＆グループファシリテーター：グループワークの予定がオーディエンスとのやり取りとなった。
安藤哲也　団長
小室淑恵　企画委員
山田正人　企画委員

(2)情報発信「にっぽん子ども・子育て応援団企画委員からのエール」
親と子を支え、応援、「新型コロナ後」の暮らしに向けた情報発信を 6 月から行った。

・動画配信
年次総会などで録画した企画委員からのメッセージを You-Tube で配信した。

・メールマガジン掲載
メールマガジンの巻頭に、新型コロナウイルス感染症関連の信頼できる情報を掲載しているサイトを紹介、リンクを張った。

(3)メールマガジンの発行
毎月1回発行

(4)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営
サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や　地方版子ども・子育て会議の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(5)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営
全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(6)調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5　政策提言活動

・年に 2 回(秋ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。→2020 年度は 10 月にフォーラムを開催したが、政策提言活動は行わなかった。

６ 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。
→2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策もあり、講師派遣は行わなかった。

７ 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015 年度～2017 年度の第 1 期を終了、2018 年度～2020 年度の第 2 期を受託。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行う。

・2020年度の実施予定と結果
ヒアリング　北海道浦河町（10 月 20 日、21 日）　企画委員・吉田恒雄氏も同行。
長野県佐久市　鳥取県米子市　宮崎県日南市（いずれも 2021 年度実施予定）
人材交流研修会　青森県青森市（10 月 31 日開催）
栃木県日光市（2021 年度 9 月 19 日に開催予定）
静岡県浜松市（11 月 27 日開催）
山梨県笛吹市　（2021 年度 9 月 12 日に開催予定）
山口県山口市（11 月 29 日開催）
徳島県徳島市（2021 年度 9 月か 10 月に開催予定）

・2020 年度地域まるごとケア・プロジェクト報告会
日時：2022 年 2 月ごろ　開催
基調講演ではなく、樋口恵子団長と堀田力団長の対談。

８ いきがい・助け合いサミット in　神奈川

・さわやか福祉財団からの委託事業。異なるテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。分科会「子どもと高齢者の交流会や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。
新型コロナウイルス感染症対策のため、2020 年度実施を 2021 年度に延期。

日時：2021年９月2日（木）9：00～11：00
場所：パシフィコ横浜　（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
話題提供：近藤博子さん　気まぐれ八百屋だんだん店主
中村(神林)俊一さん　一般社団法人プレーワーカーズ理事
河原廣子さん　NPO 法人かもまま理事長
コーディネーター：奥山千鶴子　にっぽん子ども・子育て応援団企画委員
運営スタッフ：松田妙子、青木八重子、當間紀子　にっぽん子ども・子育て応援団

９ その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催した。

にっぽん子ども・子育て応援団　令和2年度会計報告

（R2年4月1日～R3年3月31日）

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,050,000	950,000	950,000	0	-100,000
2. 賛同金収入	100,000	8,010	8,010	0	-91,990
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	300,000	0	0	0	-300,000
5. 寄付金収入	100,000	0	0	0	-100,000
6. 事業受託費	14,351,786	2,172,255	0	2,182,756	-12,179,531
7. 受託事業進行管理収入	988,179	217,226	0	217,226	-770,953
8. 資料代収入	200,000	56,058	56,058	0	-143,942
9. 雑収入	10,000	96	96	0	-9,904
10. 預り金	0	9,090,842	0	9,090,842	9,090,842
当期収入小計 (A)	17,099,965	12,494,487	1,014,164	11,490,824	-4,605,478
前年度繰越金(B)	5,960,955	5,960,955	0	0	0
収入合計(A)+(B)	23,060,920	18,455,442	1,014,164	11,490,824	-4,605,478

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	262,500	262,500	0	87,500
2. 人件費支出	2,040,000	1,984,135	1,984,135	0	55,865
3. 謝金	100,000	40,000	40,000	0	60,000
4. 交通費	246,960	187,288	187,288	0	59,672
5. 会議費	10,000	2,816	2,816	0	7,184
6. 通信運搬費	100,000	254,244	254,244	0	-154,244
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	33,020	33,020	0	16,980
9. 事務消耗品費	50,000	38,317	38,317	0	11,683
10. 備品費	0	135,630	135,630	0	-135,630
11. 助成金事業費	0	0	0	0	0
12. 受託事業費	15,339,965	1,281,345	0	1,186,330	14,058,620
13. 支払手数料	5,000	2,970	2,970	0	2,030
14. 雑費	10,000	3,247	3,247	0	6,753
15. 業務委託費	200,000	0	0	0	200,000
16. 予備費	10,000	0	0	0	10,000
17. 預り金	0	9,090,842	0	9,090,842	-9,090,842
当期支出小計 (C)	18,511,925	13,316,354	2,944,167	10,277,172	5,195,571
当期収支差額(A)－(C)	-1,411,960	-821,867	-1,930,003	1,213,652	590,093
次期繰越収支差額 (D)	4,548,995	**5,139,088**	-1,930,003	1,213,652	-4,015,385

【監査報告】

上記会計報告書類に関して、令和3年5月14日に監査を行ったところ、
帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事　畫間 洋子

監事　千葉 梢

にっぽん子ども・子育て応援団　2021 年度活動計画

（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

1　重点活動目標

・基本的には、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。

さらに、2021年度の活動テーマを「子どものこころとからだの健康」とし、全ての活動に反映させて行く。

特に、新型コロナウイルス 感染拡大によって、子どもとその家族の環境が大きく様変わりしている。困窮する子どもと親を支えつつ、現下の状況を乗り越え、未来に向けて、新しい暮らし方を提案していくべく、重点的に情報発信を行う。

「私だけの子育てから、みんなと子育てへ」

「にっぽん子ども・子育て応援団の目標」
すべての子どもたちが、かぞくの愛情に育まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子ども・子育て応援団のアピール」
1.　子どもと子育てを支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2.　着実な事業計画の推進を
3.　当事者の声が反映されるしくみを

2　啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数　1,070, 875（2021 年 3 月 31 日現在）（2020 年 3 月 31 日現在　1,067,774）

	2021 年度 4 月 1 日現在数値	2021 年度末目標値
企業・団体サポーター	49 社	60 社
NPO・市民団体サポーター	270 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	28 人	40 人

3　調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国4カ所でのヒアリングを行い、全国6カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表する。新型コロナウイルス 感染拡大状況により、年度をまたいでの調査となっている。2020 年度はヒアリング 1 カ所、3 カ所での交流会開催であった。2021 年度は、3 カ所でのヒアリングおよび 3 カ所での交流会開催を行う。

地域まるごとケア・プロジェクトに伴うプロジェクト振り返り調査および新型コロナウイルス感染拡大での影響についての調査

2 期6年間のプロジェクト最終年度として、これまでにヒアリングおよび地域人材交流研修会を行ってきた自治体および市民活動団体に向けて、これまでの経年変化を調査、さらには新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響と対応で行った工夫、培ってきたネットワークが生かされたかどうかなどについても調査、内容と報告書にまとめるとともに報告会で発表する。

衆議院議員総選挙に伴う政党アンケート

衆議院議員総選挙に伴い、各政党に向けて政策アンケートを行い、公式サイト上で結果を発表する。

4 情報提供・交流活動

(1)勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏 3 カ所で開催する。→結成12 周年記念フォーラム
うち 1 回は企業・団体サポーター向け講座(企業・団体サポーター交流会)とする。

(2)情報発信「にっぽん子ども・子育て応援団企画委員からのエール」

2020 年度に行った親と子を支え、応援、「新型コロナ後」の暮らしに向けた情報発信を今年度も行う。

(3)メールマガジンの発行

毎月1回発行

(4)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(5)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(6)調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5 政策提言活動

・周年フォーラムを開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015 年度～2017 年度の第 1 期を終了、2018 年度～2020 年度の第 2 期を受託。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行う。

・2021 年度の実施予定
ヒアリング　長野県佐久市　鳥取県米子市　宮崎県日南市　北海道浦河町（2020 年 10 月）
人材交流研修会　青森県青森市（10 月 31 日開催）
栃木県日光市（2021 年度 9 月 19 日）
静岡県浜松市（11 月 27 日開催）
山梨県笛吹市　（2021 年度 9 月 12 日）
山口県山口市（11 月 29 日開催）
徳島県徳島市（2021 年度 9 月か 10 月に）

・2020年度地域まるごとケア・プロジェクト報告会
日時：2022 年 2 月ごろ　開催
基調講演ではなく、樋口恵子団長と堀田力団長の対談。

8　いきがい・助け合いサミット in　神奈川

・さわやか福祉財団からの委託事業。異なるテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。分科会「子どもと高齢者の交流会や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。（新型コロナウイルス　感染拡大により、2021 年度開催にスライド）

日時：2021年 9 月2日（木）9：00～11：00
場所：パシフィコ横浜　（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
話題提供：近藤博子さん　きまぐれ八百屋だんだん店主　一般社団法人ともしび at だんだん代表理事
中村俊一さん　一般社団法人プレーワーカーズ理事
河原廣子さん　NPO 法人かもまま理事長
コーディネーター：奥山千鶴子　にっぽん子ども・子育て応援団企画委員
運営スタッフ：松田妙子、青木八重子、當間紀子　にっぽん子ども・子育て応援団

9　その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

にっぽん子育て応援団　令和3年度収支予算書　　（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

【収入の部】

単位（円）

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳	
1.　会費収入	1,050,000	150,000		(団長&企画委員)　@10,000円×15人	150,000
		150,000		(自治体首長新規&継続)　@10000円×15人	150,000
		150,000		(企業・団体新規)　@50,000円×3社	150,000
		400,000		(企業・団体継続)　@50,000円×8社	400,000
		0		(企業・団体継続)　@30,000円×0社)	0
		200,000		(企業・団体継続)　@20,000円×10社	200,000
2.　賛同金収入	100,000	100,000	0	(個人)　@1,000円×100人	100,000
3.　民間助成金収入	0	0	0		0
4.　講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額	
5.　寄付金収入	100,000	100,000	0		
6.　事業受託費	8,564,403	0	8,564,403	さわやか福祉財団受託事業見積(地域まるごと・サミット)	
7.　受託事業進行管理収入	826,439	0	826,439	さわやか福祉財団受託事業見積	
8.　資料代収入	200,000	200,000	0	春・秋フォーラム	
9.　雑収入	10,000	10,000	0		
当期収入小計（A）	11,150,842	1,760,000	9,390,842		
前年度繰越金(B)	5,139,088	5,139,088	0		
収入合計(A)+(B)	16,289,930	6,899,088	9,390,842		

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳	
1.　借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃(@20,000円×12ヶ月＋年間登録料)＋会議室使用料ほか	
2.　人件費支出	2,040,000	2,040,000	0	事務局・アルバイト人件費　@(150,000円＋10000円×2)×12ヶ月	
3.　謝金	100,000	100,000	0	講師謝金	
4.　交通費	246,960	246,960	0	事務局交通費　(14580+6000)×12ヶ月	
5.　会議費	20,000	20,000	0	茶菓・弁当代	
6.　通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費	
7.　制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費	
8.　印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リソグラフ・印刷費(パンフレット・封筒)	
9.　事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等	
10.　備品費	0	0	0		
11.　助成事業費	0	0	0		
12.　受託事業費	9,390,842	0	9,390,842	さわやか福祉財団受託事業(地域まるごと・サミット)	
13.　支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料	
14.　雑費	10,000	10,000	0		
15.業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連　@20,000円×12ヶ月＋サーバーレンタル料	
16.予備費	10,000	10,000	0		
当期支出小計（C）	12,572,802	3,181,960	9,390,842		
収支差額（A)－（C）	(1,421,960)	(1,421,960)	0		
次期繰越収支差額（D）	3,717,128	0	0		

にっぽん子ども・子育て応援団の運営体制について

１．_団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

２企画委員について

渥美雅子：弁護士
◎安藤哲也：ＮＰＯ法人ファザーリング・ジャパン代表理事
奥山千鶴子：ＮＰＯ法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
◎勝間和代：経済評論家
清原慶子：杏林大学客員教授　ルーテル学院大学学事顧問・客員教授　前三鷹市長
倉田　薫：前池田市長
神津里季生：日本労働組合総連合会会長
小室淑恵：株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長
榊原洋一：お茶の水女子大学名誉教授　小児科医
林　文子：横浜市長
◎樋口恵子：ＮＰＯ法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授
◎堀田　力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士
椋野美智子：松山大学特任教授
村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授
山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者
吉田恒雄：認定ＮＰＯ法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長
◎は応援団長（共同代表）

３．_運営委員について

奥山千鶴子（NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長）
＊千葉　梢（日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局）
高祖常子（認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事）
有馬正史（認定NPO法人さわやか青少年センター理事長）
＊昼間洋子（NPO法人高齢社会をよくする女性の会）
勝間直行（NPO法人ファザーリング・ジャパン）
山田麗子（「遊育」編集長）
＊は監事

４．_事務局体制について

當間紀子：主に企画・広報と渉外および地域まるごとケア・プロジェクトを担当
青木八重子：主に会計業務および地域まるごとケア・プロジェクトを担当
小原聖子：主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当
松田妙子：主に勉強会ファシリテーター、イベントの構成を担当

５．_運営体制について

〇「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。
〇役員総会は、原則年１回開催し、応援団の活動の基本的事項（規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等）について審議する。
〇団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。
〇運営委員会は、毎月１回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。
＊運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。
＊応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。
〇年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。